

# のらくらノート

いろんなことに会って。触れて。楽しもう。

「のらくら」は、空の下で、畑で野良仕事をしてみたり、ものづくりをしてみたり、森を一日中歩いてみたり、みんなであそんだりするよ。お昼になったらピクニックみたいにお弁当を食べよう。そんな中で、一人一人が、自分の声を伝え合って、やってみたいことも考えて、とりくむこともしたいね。

それから「のらの時間」というのも考えていて、畑や田んぼ、そして森の手入れなどをするよ。草や笹を刈ったり、草花を育てたり。遊具の修理や、新しく作ったりするのもいいね。林業、農業、大工さんみたい。それから「森のごはん」の日には、簡単にできるおかずを作って（おいしさを追求！）森でみんなで食べよう。何がいいかな？

お腹がすいてきた～。

## ●たとえばだけど、ここでできるコト

- ・自然の美しさや生き物と出会える
- ・太陽にあたる。風に吹かれる
- ・森や野を歩ける。走れる。動き回れる
- ・空の下でご飯を食べる。ご飯をつくる
- ・絵を描く。モノづくりができる
- ・自分の好きなコトを持ち込める
- ・畑で花を育てる。花屋さんができる
- ・田んぼやピオトープで多様な体験できる
- ・どろんこにもなれる。
- ・のらしごとができる
- ・森で環境づくりができる
- ・友達とおしゃべりする
- ・一人でもあそべる。みんなであそべる
- ・年上の人、年下の人とコミュニケーションできる
- ・森の中でお昼寝もできる
- ・のらりくらりできる などなど

## ●のらくらの仲間は

5歳から小学生、中学生、高校生の人も来られる場所なので、年下の子には、自分がお兄さんやお姉さんになって、何か教えてあげることも。また、その反対に年上の人から教わったりすることもあるよね。年齢は違っても仲間だ。

## ●いっぱい自然環境で

横浜市青葉区寺家町にある「寺家のソダチの森」が本部です。今は屋根がないけど、デッキや机などなどあるところ。長年にわたって、子どものワークショップの子どもたちが作ってきた森です。ひみつの場所もあるよ。

寺家のたんぼぼうは、水性生物を増やすことと、子どもが命に触れ合える環境つくすることを目的として、子どもも大人も一緒になってつくっているフィールドです。そこには亀の池と三日月の池とちび田んぼがあって田んぼでは毎年お米を育てています。

水車の畑は、とても陽のあたる畑で、夏にはひまわり、春には菜の花を咲かせているよ。寺家ふるさと村の景色の一つで、毎年楽しみにしている人がいっぱいいます。ひまわりは切り花にして売るんだ。菜の花は美味しいよ。ここは雑草もいっぱいだから虫もいっぱいいるんだ。

そして、多くの人が利用する横浜市ふるさとの森や、町田市三輪の森は歩く山道がいっぱいあるところ。貴重な植物も生息していて、景色もとてもきれいだよ。

## ●のらくらの日

毎週木曜日 10:00 集合 ～ 14:30 に解散です（祝祭日・お盆正月期間は休み予定）この日待ってるね。遅れてもいいので来てね。

（多少の雨の日でもやるよ。レインコートや長靴も用意して、でも、とても荒れた天気の時はお休みします）

連絡先

子どものワークショップ 担当 うらべの

活動拠点 横浜市青葉区寺家ふるさと村

事務局 〒215-0007 川崎市麻生区向原3-13-25

メール [jike@childws.com](mailto:jike@childws.com) HP [www.childws.com](http://www.childws.com) 電話 090-1215-0585

(2024.2.3)